



駒澤大学 吹奏楽部

The Symphony Band of Komazawa University





本学吹奏楽部は1962年に創部され、2012年には創部50周年を迎えました。これまで全日本吹奏楽コンクールへの出場歴は20回を超え、そのうち金賞を20回受賞しており、本学の課外活動の中でも歴史と実績のある部活動の一つです。

本学の教育の理念である「仏教の教え」と「禅の精神」は、お互いの個性を尊重しながら、他者との繋がりの中で相手を思いやり、お互いを高め合うことに基点を置いております。吹奏楽は、奏者がそれぞれの楽器を奏でながら、すべての音色が調和することによってはじめて力強く、表情豊かな一つの美しいサウンドとなります。つまり、各奏者が自身の演奏を完璧なまでに高めるだけでなく、他の奏者のことを思いやり、全員で目指すべき音色を奏でることによってしか、調和のとれた豊かなサウンドを作り上げることはできません。これはまさしく本学の教育の理念に通じるものです。

大学は知識を修得するだけの場ではありません。自らが主体的に目的と意欲をもって、多様な考えを持つ他者と触れあい、そしてともに助け合い、励まし合い、切磋琢磨しながら歩いていくという経験こそが、大学で学ぶことのもう一つの意義であると言えるでしょう。その意味で、正課教育と課外活動は渾然一体となって、学生の人格を形作っていくのです。2008年に中央教育審議会大学分科会制度・教育部会が答申した「学士課程教育の構築に向けて（答申）」でも、課外活動の重要性が謳われております。

本学吹奏楽部では、音楽活動を「演奏する者が磨き抜かれた技術によって作品にこめられたメッセージを表現し、聴く者とそれを共に楽しむこと」と捉え、自己の鍛錬に励むとともに、聴いていただく皆様の心に残るような演奏を目指しています。これからも本学吹奏楽部には、創部以来、連綿と受け継がれてきたその「駒澤サウンド」をさらに昇華させ、部員一人ひとりの人間力や創造性を高め、たくさんの人たちから愛される「駒大プラス」であり続けてくれることを願ってやみません。

駒澤大学 学長

長谷部 八朗

駒澤大学吹奏楽部 全日本吹奏楽コンクール出場歴 * 出場年 曲目（指揮者）結果 の順で掲載

- 1971 バレエ音楽「春の祭典」より／I.ストラヴィンスキー（玉城政利）金賞
- 1972 サンタフェ物語／M.グールド（上埜孝）金賞
- 1973 交響詩「ローマの祭り」より／O.レスピーギ（上埜孝）金賞
- 1974 組曲「ハーリ・ヤーノシュ」より／Z.コダーイ（上埜孝）金賞
- 1975 バレエ組曲「火の鳥」より／I.ストラヴィンスキー（上埜孝）金賞
- 1976 特別招待演奏（上埜孝）
- 1977 バレエ音楽「春の祭典」より／I.ストラヴィンスキー（上埜孝）金賞
- 1978 舞踏組曲より／B.バルトーク（上埜孝）金賞
- 1979 バレエ音楽「中国の不思議な役人」より／B.バルトーク（上埜孝）金賞
- 1980 シンフォニエッタより／L.ヤナーチェク（上埜孝）金賞
- 1981 バレエ音楽「ロメオとジュリエット」より／S.プロコフィエフ（上埜孝）金賞
- 1982 特別招待演奏（上埜孝）
- 1985 交響詩「海」より／C.ドビュッシー（上埜孝）金賞



駒澤サウンドの 継承者求む

駒澤大学 吹奏楽部部长
深見 泰孝



駒澤大学吹奏楽部は1962年の創部以来、「常に誠実でつましくそして情熱をもって」という部訓を掲げ、上埜孝氏（洗足学園音楽大学名誉教授）、秋山鴻市氏（元NHK交響楽団バストロンボーン奏者）によって築かれた駒澤サウンドを継承して参りました。この間、当部は全日本吹奏楽コンクールで金賞を20回受賞し、有為の人材を輩出して参りました。

当部の特徴として、座奏だけでなくマーチングにも力を注いでおり、迫力あるマーチングは定評を得ています。また、それらのステージを部員一丸となって、全員の音色で作りに上げていることが、当部のもう一つの特徴と言えます。

ただ、この数年、残念ながら当部は吹奏楽コンクールで結果を残せていません。それでも私たちは、「日本屈指の楽団になる」という大きな夢の実現に向けて活動しています。私たちは、私たちと一緒にその夢に挑戦したい、駒澤サウンドの継承者になりたいという方をお待ちしています。

継続はチカラなり

駒澤大学 吹奏楽部副部长
2004年度卒
クラリネットパート
高井 要



駒澤大学吹奏楽部は、「コンクールで全国大会金賞を目指したい」「カレッジスタイルのマーチングをやりたい」という学生が全国各地から集まっています。入部動機は様々ですが、全員共通の思いは「大学でも楽器を続けたい」ことです。この思いで結束した仲間達が部活動に、大学での勉強にと日々励んでいます。

大学入学後もこの思いを忘れず、チャレンジする学生を、私は職員として、当部副部长として、そしてOBとして全力でサポートしています。

また、私たちは練習見学や合同練習の機会を大切にしています。それはお互いが音楽的な良い刺激を受けるチャンスだと考えるからです。もし、当部に関心をお持ち下さったなら、練習見学や合同練習をぜひお申し出下さい。私たちはお申し出を歓迎いたします。

楽器を続けることは時に苦難もあります。ただ、それが必ずチカラとなって素晴らしい景色を見せてくれるはず。そんな景色を私たちと一緒にぜひ見てみましょう。



- 1996 管弦楽のためのディヴェルティメントより／L.バースタイン（上埜孝）金賞
- 2000 バレエ音楽「中国の不思議な役人」より／B.バルトーク（上埜孝）金賞
- 2001 舞踏組曲より／B.バルトーク（上埜孝）銀賞
- 2002 交響詩「ローマの祭」より／O.レスピーギ（上埜孝）金賞
- 2003 特別招待演奏（上埜孝）
- 2004 組曲「惑星」より 木星／G.ホルスト（上埜孝）金賞
- 2005 交響曲第5番より／D.ショスタコーヴィチ（上埜孝）金賞
- 2006 幻想交響曲より／H.ベルリオーズ（上埜孝）金賞
- 2007 特別招待演奏（上埜孝）
- 2008 交響的断章／V.ネリベル（上埜孝）金賞
- 2009 バレエ音楽「ダフニスとクロエ」第2組曲より／M.ラヴェル（上埜孝）金賞
- 2010 バレエ音楽「中国の不思議な役人」より／B.バルトーク（上埜孝）金賞
- 2011 特別招待演奏（上埜孝）

Komazawa Sound

駒澤サウンド

それは、パワーとスピードある金管楽器の音圧、流麗かつ繊細な木管楽器の音色、そして情熱と躍動感あふれる打楽器のリズムが生み出す重厚なサウンド。

ポップスや吹奏楽オリジナル曲、クラシック曲のアレンジなど、曲調に合わせて、ときに力強く、ときに華やかに、色彩豊かな表現力に裏打ちされた伝統のサウンド。



年間スケジュール

4月 入学式

5月 長野県善光寺仏都花まつりパレード

6月 サマーコンサート

7月 オープンキャンパスでの演奏

8月 全日本吹奏楽コンクール東京都予選

9月 全日本吹奏楽コンクール東京都大会

10月 全日本吹奏楽コンクール全国大会
スポーツフェスティバルでの演奏
地域の依頼演奏

11月

12月 定期演奏会

1月

2月 福祉施設での演奏会

3月 スプリングコンサート
卒業式

この他、全国各地での演奏会、地域からの依頼演奏や小中学校の芸術鑑賞会での演奏などを行っています。

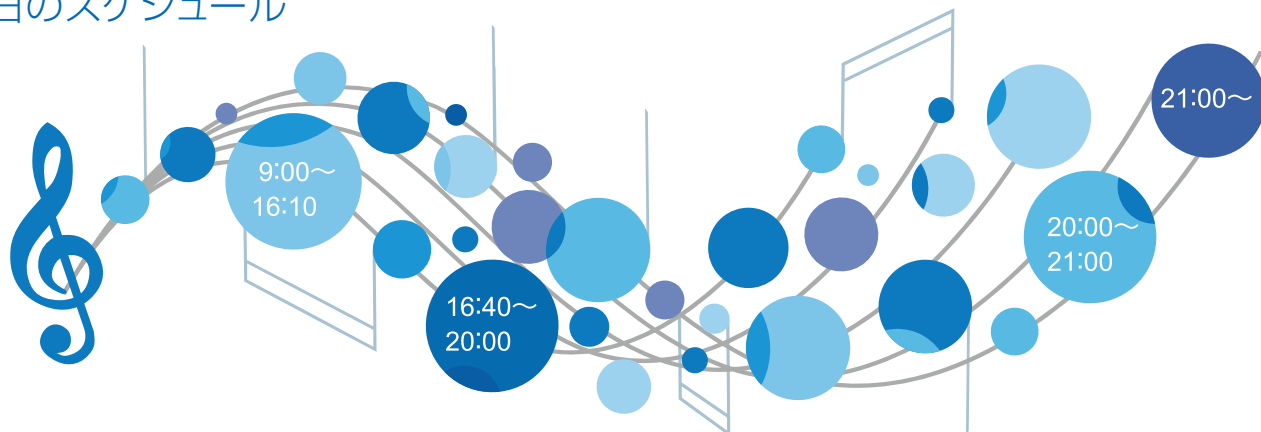
Marching

マーチング

マーチングは大きく分けて「コーススタイル」と「カレッジスタイル」があり、当部は「カレッジスタイル」を取り入れ、足を高く上げる歩き方や激しい振付による独自のスタイルを確立。楽器を演奏しながら動く大迫力の「メンツ」と、旗でバンドに華を添える可憐な「カラーガード」で構成されている。



一日のスケジュール



授業

部活動(玉川キャンパス)

個人練習・分奏・合奏・マーチング練習・各パートの講師によるレッスンなど

自主練習、片付け

帰宅

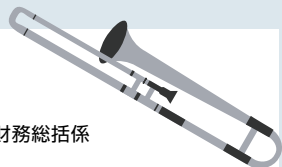
OB & OG Message

駒澤大学吹奏楽部で培った経験と知識を活かして様々なフィールドで活躍しているOB、OGの皆さんから高校生の方へメッセージが届いています。

※記載の職場・肩書は2017年7月時点のものです。

笠原 康平

国立大学法人東京藝術大学 戦略企画課 財務総括係
経済学部 経済学科 (2011年度卒)
出身高校: 埼玉県 川越東高等学校



トロンボーン

高校時代、吹奏楽コンクールでは毎年地区予選で終わり、県大会にすら出場できなかった私にとって、駒澤大学吹奏楽部での活動は大変刺激的なものでした。マーチング、全日本吹奏楽コンクールのステージや全国各地での演奏会など、どれもこれも高校では経験できなかったことばかりで、今でも鮮明に覚えています。そして何より、卒業して何年経っても部活動の話で盛り上げられる仲間ができたことが一番の財産です。

大学卒業後も音楽に携わる仕事がしたいと思い、東京藝術大学に就職し、音楽家に囲まれて仕事をしています。ぜひ皆さんもこの部活動を通して一生の仲間と出会い、充実した大学生活を送ってみてはいかがでしょうか。

窪 泰寛

神奈川県横浜市立生麦中学校 教諭
生徒指導部長 (吹奏楽部顧問)
仏教学部 仏教学科 (2008年度卒)
出身高校: 山形県 九里学園高等学校



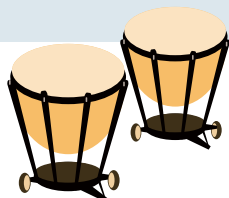
チューバ

私は大学2年生から入部し、活動を始めました。始めは大変なことばかりでしたが、憧れだった伝統の「駒澤サウンド」の作り手の一員になれたことを誇りに思うと同時に、「自分が吹かないと他はいない」という責任感を学びました。4年生の時に副将を務め、全員で最高の定期演奏会を迎えることを目指し、そのための通過点として全日本吹奏楽コンクール金賞受賞を目標に掲げました。常にゴールを明確にし、それまでの過程における最善の方法を検討し、対処法を考え、試行錯誤しながら練習に臨みました。

全日本吹奏楽コンクールでは金賞を受賞することができ、この経験は現在の職業でも活かされており、学級、部活動運営に大きく役立っています。ぜひ、これから入部される部員の皆さんにも、創部から掲げられている部訓「常に誠実で つつましく そして情熱をもって」の姿勢を引き継いで頂き、価値ある4年間を過ごしてほしいと思います。

卯木 雅人

東京消防庁音楽隊 パーカッション奏者
経済学部 経済学科 (2007年度卒)
出身高校: 東京都立鷺宮高等学校



パーカッション

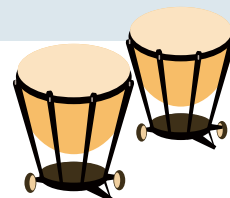
駒澤大学吹奏楽部に入部してすぐの頃は驚きの連続でした。圧倒的な音圧、日本を代表する指導者の先生方、大学最高峰を目指す情熱。私も音楽に対し熱い情熱を持つようになりました。

私は現在、東京消防庁音楽隊で、パーカッション奏者として演奏活動を行っています。駒澤大学吹奏楽部で得た音楽への情熱を持ち続け、大きな舞台を目指した「諦めない気持ち」や「向上心」があったからこそ、現在の職につくことができたと実感しています。消防吏員として、また音楽隊員として、常に向上心を持ち、「東京都民と消防の架け橋」として恥じぬよう、日々の訓練や演奏活動に励んでいきたいと思えます。

楽しいことも、辛いことも、普通では絶対経験できないことを、多くの仲間たちと経験しました。それが自分の人生の糧となり、今も息づいています。皆さんもその様な「人生が変わる経験」を駒澤大学吹奏楽部でできたら、先輩として大変嬉しく思います。

堀川 紗英

株式会社コマキ楽器 パーカッションシティ
法学部 法律学科 (2014年度卒)
出身高校: 東京都立豊多摩高等学校



パーカッション

就職活動を考えてときに、スーツで営業、デスクワーク、どれも自分にはしっくりこなかったため、私は引き続き楽器に囲まれる道を選びました。楽器の修理やレンタルはもちろん、大学への営業や、国内外に楽器を送ることもあります。多岐に及ぶ業務内容で毎日めまぐるしく過ぎていき、発見の連続です。初めてスティックを持つお客様からの相談や、プロの奏者の方々の楽器の選定まで、毎日色々なドラマを目の当たりにできるのも接客業の特権ですね。

社会に出て、これってなかなか他の人ができないことなのだなと気付いたのが、「先輩!代わりにやりますよ!」の一言が言えること。上下関係については、現役時代に身につけた声かけや気遣いがしっかり発揮できているなと感じています。

楽器を演奏するのと売るのは着眼点も異なります。今は職場で得た知識や経験を活かして、現役部員の楽器に関しての相談にも乗っています。

山野井 大輝

尚美ミュージックカレッジ専門学校コンセルヴァトアール
ディプロマ科2年在学中
芸劇ウインドオーケストラアカデミー第3期生
経営学部 市場戦略学科 (2014年度卒)
出身高校：山口県立下松高等学校



トランペット

私は駒澤大学卒業後、本格的にトランペットの勉強をすべく、音楽の専門学校に編入し、現在はプロオーケストラのエキストラやバンド指導、ソロコンクールやオーディションを受ける日々を送っています。私を音楽の虜にしたのは、吹奏楽部でのNHK交響楽団をはじめ、プロの奏者による直々の本格的なレッスンでした。一般の大学にいながら、音楽大学に通っているような感覚でした。このような恵まれた環境で、仲間と一緒に音楽を作り上げた日々は、私にとってかけがえのないものでした。

武田 都

新日本フィルハーモニー交響楽団 事業部 (企画・制作)
法学部 政治学科 (2006年度卒)
出身高校：東京都立杉並高等学校



トロンボーン

大学では吹奏楽部に入部するつもりはありませんでした。しかし友人に誘われ渋谷吹奏楽部を見学した時、「もう一度、自分がどこまでできるかチャレンジしよう」という気持ちが芽生え、入部しました。そこから結局4年間、音楽漬けの毎日を過ごしました。卒業の頃、次第に、音楽に携わる仕事をしたいと思うようになり、今はオーケストラの事務局でコンサートの企画制作に携わっています。部活動を最後まで続けることは簡単ではありませんでしたが、その経験と苦楽を共にした仲間は大切な財産となっています。もし音楽が好きならば、音楽漬けの学生生活も悪くはないと思います。

栖原 眸

ヤマハ銀座店 管弦打営業課
GMS学部 GM学科 (2016年度卒)
出身高校：東京都 潤徳女子高等学校



オーボエ

駒澤大学吹奏楽部は、学生が主体となって部を運営します。悩むこともありましたが、仲間と切磋琢磨しながら楽しい日々を過ごすことができました。また、素晴らしい先生方のご指導のもと、たくさんの音楽に出逢えたことや得られた知識は一生の宝物です。現在は今までの経験を活かしたいと思い、ヤマハ銀座店に勤務しています。駒澤大学での4年間があるからこそ、今の仕事にとってもやりがいを感じることができています。

高政 宏充

株式会社伊東商会 (商社・営業)
経営学部 経営学科 (2009年度卒)
出身高校：富山県立高岡商業高等学校



サクソ

現役時代には、演奏会や全国大会を通じた音楽的な上達はもちろんのこと、「チームワーク」や「礼儀」など、社会に出て役立つこともたくさん学ぶことができました。私は駒澤大学卒業後に、留学や青年海外協力隊など海外で様々な経験をしました。日本と異なる環境で辛いこともありましたが、どんな環境でも大切にしていたことは、当部の部訓である「常に誠実でつつましくそして情熱をもって」です。この部訓はこれまでも、そしてこれからも私の指標です。

小宮山 雄太

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
ステージマネージャー
文学部 国文学科 (2005年度卒)
出身高校：千葉県習志野市立習志野高等学校



ホルン

私は現在、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団でステージマネージャーの仕事をしています。プロのオーケストラの現場を統括する責任者で、内容は楽器の運搬、椅子や譜面台の設置、出演者や演奏会進行の管理、その他多岐に渡ります。在学中に楽器の積込みをしたことや、運営に携わったこと、プロの演奏家の先生方から教えていただいたことなど、今の仕事のすべてに駒澤大学吹奏楽部での経験が活かされています。駒澤大学吹奏楽部は努力次第で自分のやりたいことや、夢が、実現できる場所です。一生の財産となる経験やつながりが得られる、充実した4年間をぜひ多くの方に経験してほしいと思います。

駒澤大学吹奏楽部 合同練習、練習見学について

駒澤大学吹奏楽部では高校吹奏楽部との合同練習や練習見学の申込をお待ちしております。当部の行事予定と調整し、可能な限り対応させていただきますので、まずはご相談ください。

お問い合わせ

駒澤大学吹奏楽部 副部長 高井 要
takai83@komazawa-u.ac.jp





常に誠実で
つつましく
そして情熱をもって



駒澤大学

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1
<https://www.komazawa-u.ac.jp/>



駒澤大学吹奏楽部

玉川キャンパス 練習場

〒157-0068 東京都世田谷区宇奈根1-1-1
TEL / 03-3709-5135 (練習時間内のみ)

<http://www.geocities.jp/komazawabrass/>



Facebook
「駒澤大学吹奏楽部」



Instagram
「komazawa_u_brass」

